

三萩野公園内施設指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 平成 30 年 10 月 24 日（水） 10：50～11：55
- 2 場 所 北九州市役所 5 階 特別会議室 A
- 3 出席者 (検討会メンバー)
植田構成員、河邊構成員、南構成員、寺崎構成員、宮城構成員
(事務局)
市民文化スポーツ局 スポーツ振興課
スポーツ施設担当課長、担当係長、担当職員

4 会議内容

- 応募団体（北九州野球株式会社）より提案概要に関してヒアリング。
（提案書の内容につき説明）
- 応募団体（北九州野球株式会社）との質疑応答。

(構成員)

- ・2名の代表となっているが、理由は何か。財務等、役割で分担しているのか。

(応募団体)

- ・実務に関しては、私(代表取締役専務)がやっている。そのため、責任は、私の方が重い。

(構成員)

- ・46社の株主がいれば、会社内部で権利をどうするのか等の話になるのではないかと。また、そのことに関して、問題が発生していないか。

(応募団体)

- ・そのような問題は生じていない。

(構成員)

- ・役員の退職金が多いように思われるが、その点についてはどうか。

(応募団体)

- ・平成 28 年度分に関しては、平成元年～平成 27 年までに役員に就任していた 4 人への退職金を支払ったため、今までにない支出となった。

(構成員)

- ・平成 30 年の利益が少ないように思うが、財政的に大丈夫なのか。

(応募団体)

- ・問題ないという認識である。

(構成員)

- ・三萩野球場の利用者が年々減少している。平成 29 年度の三萩野球場の新規利用者数はどのくらいあったか。また、新規利用者数を増やす告知はどのように行っているのか。

(応募団体)

- ・天候により減少するケースが多い。また、減少している理由として、従来の利用者、特に軟式野球の利用者が、他の球場を拠点として大会をするようになったことがあげられる。一方、予約システムを活用し、予約をした一般の方々の利用は増えてきている。少年野球チーム等の大規模の利用が減り、個人利用等の小規模の利用が増えれば、利用頻度は変わらないものの、使用実績としての利用者数は減ってしまう。

(構成員)

- ・障害者、高齢者、外国人が利用しやすい施設を目指す等の記載があるが、どのような対応を実施しているのか。

(応募団体)

- ・高齢者の利用は、三萩野球場・少年球場がメインとなっている。市民球場で障害者の大会を開催したこともある。障害者の観戦のサービスへの対応に関しては、施設として不十分であると考えている。市民球場では、障害者用の観戦スペースを 2 か所に 3 席分設けているが、そのスペースに行くまでの手段は、車いすを抱えて階段を上がる以外にない。他球場では、移動用のエレベーターを完備している。

(構成員)

- ・プロ野球関係者から市民まで幅広い利用団体がいると思うが、それぞれの団体への対応として工夫や配慮していることはあるか。

(応募団体)

- ・プロ野球関係者からの芝の苦情で、芝の高さを変える等の対応を行った実績がある。プロの要望に応えるべく、マツダ zoom zoom スタジアム広島の芝生の管理者や福岡ソフトバンクホークスのキャンプ地の芝生の管理者との交流をし、技術の向上を図っている。また、社会人や高校野球、軟式野球の関係者と球場の利用の仕方について協議を行っている。

(構成員)

- ・広告収入がメイン収入になっているが、広告看板は球場に設置しているものと考えて良いか。また、掲載する広告については個人営業を行ったうえで掲載しているものなのか、それとも出資企業からのものなのか。

(応募団体)

- ・掲載する広告に関しては、代理店は使わず、個人で営業活動をしている。出資企業からのものは、あまりない。

(構成員)

- ・売店やレストラン等の営業収入の増加について、何か工夫をしていることはあるか。

(応募団体)

- ・売店に関しては、作って売るスタイルの興行が球場の構造上難しく、現在は、単価が低く、提供しやすいものに限られている。今は、作り売りをするのが主流であるため、売り上げが伸びず困っている。レストランに関しては、設備は充実しているものの、選手が利用することを想定しているため、一般営業に向かない。

(構成員)

- ・プロ野球を開催するにあたり、苦情や騒動はあるか。また、警備はイベント会社に一任しているのか。

(応募団体)

- ・警備は、ソフトバンクが委託している警備会社をお願いをしている。平成 3 年頃までは、もめごと等も多くあったが、現在は、そのような問題は発生していない。

(構成員)

- ・人員配置計画表に関して、経験年数を重ねている方がいることは、委託を任せるうえでの安心できる要素ではあるが、高齢者の割合が多いように思う。若返りを図ることはしないのか。

(応募団体)

- ・若返りをしたいと考えている。過去に、新たな人材を雇ったが、炎天下での作業に耐えられないなどの理由で、長続きしなかった。しかし、課題として認識しているので、これから、3 年~5 年の間くらいに実現させたいと考えている。

(構成員)

- ・賃金アップで新たな人員確保はできないのか。

(応募団体)

- ・賃金を少し上げたからといって、応募が増えるわけでもなく、やはり、野球が好きであるなど情熱が必要だと思う。

(構成員)

- ・受動喫煙対策や分煙対策に関する考え方はどのようなものか。

(応募団体)

- ・球場内は禁煙。本来、公共施設なので、敷地内での喫煙も控えるべきだと考えている。しかし、敷地外の道路で喫煙をさせるわけにもいかないの、球場外に喫煙スペースを設置し、対応している。

- 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。その後、構成員全員で意見交換。

(構成員)

- ・提案書やプレゼンテーションの内容がプロ野球に関することが多く、市民利用に関する提案内容が少ないという印象を受けた。また、提案内容に関しても、新しいものが出ておらず、現状維持から抜け出し切れていない。

(構成員)

- ・役員の改選に関することや、来年以降の取り組みについて色々と計画を立てている印象である。プレゼンテーションでは、市民球場に関する使命感を強く感じた。

(構成員)

- ・このような株主が多い会社の場合、色々な利害関係などのしごらみがあるため、内部的に問題がないのかという不安感がある。また、人間的に、経験豊富な人を多く抱えていることは良いことだが、年齢的に 70 代の人ほとんどだということに、将来的な不安を感じた。

(構成員)

- ・この施設群を、この価格で適切に運営できるのは、良くも悪くもここしかないと感じた。提案に関しては、安定的な提案を期待できる一方で、新規性は乏しい印象であった。

(構成員)

- ・プロ野球での運営のみの印象である。そこを強みとするのであれば、市民の利用を増やすというのではなく、見るスポーツに特化した提案等があれば、なお良かった。また、そういう意味では、しっかりとした広報ができる、特に、若者が利用するコンテンツを使うことのできる若い人員を早く運営業務に携わせるべきだと感じた。

5 検討会としての検討結果について

各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての各審査項目の評価レベルを下記のとおり、決定した。

1 指定管理者としての適性のうち、

- (1) 施設の管理運営に関する理念、基本方針については、4
- (2) 安定的な人的基盤や財政基盤については、3
- (3) 実績や経験などについては、4

2 管理運営計画の適確性に関する有効性のうち、

- (1) 施設の設置目的の達成に向けた取組みについては、4
- (2) 利用者の満足度については、3

効率性のうち、

- (3) 指定管理業務に係る経費については、3
- (4) 収支計画の妥当性及び実現可能性については、3

適正性のうち、

- (5) 管理運営体制などについては、3
- (6) 平等利用、安全対策、危機管理体制などについては、4

- ・人間的に高齢であることや株主が多いことによるしがらみで、内部的に問題がないかという不安はあるものの、市民球場に関する使命感を強く感じた。また、芝の管理については評価できる。総合的にみて、これまでの実績に照らし合わせても、安定的な運営を実施していくと思われ、三萩野公園内施設の業務を行うのに十分な適格性を有していると考ええる。